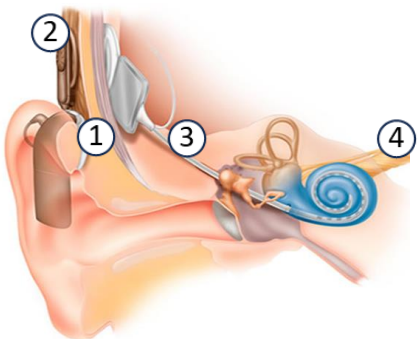


1. 高度難聴に対する人工内耳治療

◆人工内耳治療

- ① 体外装置であるサウンドプロセッサが音を拾い、拾った音をデジタル信号に変換。
- ② デジタル信号を送信コイルからインプラントに送信。
- ③ インプラントは受信したデジタル信号を電気信号に変換し、蝸牛（内耳）内に埋め込んだ電極に送る。
- ④ 電極が蝸牛内の聴神経を刺激し音として認識される。



2. 内視鏡下甲状腺切除術（VANS）

◆内視鏡的甲状腺腫瘍切除

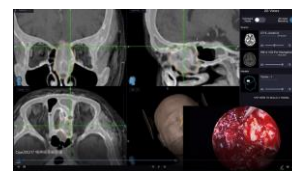
- 内視鏡下に甲状腺腫瘍を切除することができる治療。
- 2016年に保険収載された治療法で、唯一県内では当院で治療を行うことが可能。
- 当院では、比較的腫瘍径の小さい甲状腺良性腫瘍に対応。
- 鎖骨下から甲状腺にアプローチすることで頸部に目立つ傷を残さないことができる。
- 内視鏡下でクリアに血管や神経を同定することができる。



3. 内視鏡による低侵襲 鼻腔がん手術

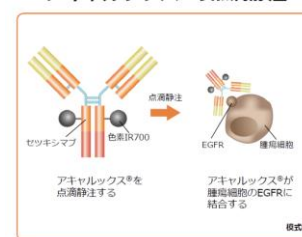
◆内視鏡的鼻腔がん切除治療

- 鼻腔がんに対して内視鏡とナビゲーションシステムを用いることにより、顔面に切開創をつくることなく腫瘍の切除が可能。
- 審美的な面に配慮しつつ、体への負担が少なく回復も早い。
- 鼻腔から頭蓋内に浸潤する腫瘍に対しても、頭蓋底再建を含めた内視鏡下腫瘍摘出術を脳神経外科と合同で施行している。
- 従来の開頭術と比較して低侵襲で行えることにより早期退院を可能にしている。



4. 再発頭頸部がんに対する光免疫療法

アキラルックス®の点滴静注



BioBlade®レーザーシステムによるレーザー光照射（波長690nm）



◆光免疫療法による再発がんの治療

- 新しいがん治療として米国国立がん研究所（NIH）で日本人の小林教授が開発。
- 放射線治療後の局所再発や手術が困難な頭頸部癌に対して、2021年より世界に先駆けて本邦で保険診療として行われている。
- 抗EGFR抗体薬（セツキシマブ）と光感受性物質を結合させた複合体（アキラルックス®）を点滴し、レーザー照射することで腫瘍を破壊する。